

# ONE



でも、使う方は一人ひとり。一本一本のパイプ(one)に、使い手一人ひとりの想い(ONE)が載っている。利便性や経済性のみならず、すべての人のための環境性、さらには一人ひとりの“命”を守る安全性をも載せている……身が引き締まる思いです。それゆえに、つくり手である私たちは、進歩し続けなければなりません。メーカーの視点(one)から、ユーザーの視点(ONE)へ。モノを造ること(one)から、価値を創ること(ONE)へ。製品にたずさわる、一人ひとりの想いが、使い手の想いと「one to ONE」で一直線につながっていくために——私たちの挑戦は続きます。